

科目コード	N222
授業科目名	症状マネジメント
授業科目名(英文)	Symptom Management
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学年	前学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-1、看DP-2
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	立石 和子
授業の概要	臨床における様々な症状のメカニズム(病態生理)を理解し、対象の知覚と反応から臨床判断する能力を養う。また、症状緩和のための具体的なケアについて探求し、根拠のある看護技術を学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 主要な症状のメカニズムや発生機序を理解し説明できる 2. 症状の予防や緩和に対するアプローチについて根拠を示して説明できる 3. 症状緩和のための具体的な援助技法について説明できる
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	筆記試験(70%)、レポート評価(30%)を総合的に判定し100点中60点以上を合格とする。
教科書	根拠がわかる症状別看護過程 改訂第3版 関口恵子 北川さなえ編集 南江堂 2016年 978-4-524-26119-2
参考書	適宜紹介する
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R4. 4. 14	木	V	ガイダンス・症状マネジメントの考え方	講義	立石 和子		
				予習 教科書の序章を読む				
				復習 授業資料の復習				
2	R4. 4. 21	木	V	呼吸器系症状の理解と看護(呼吸困難)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第1章を読む				
				復習 授業資料の復習				
3	R4. 5. 12	木	V	循環器系症状の理解と看護(浮腫)	講義	立石 和子		
				予習 教科書の第2章(P48~55・P143~154)を読む				
				復習 課題レポート				
4	R4. 5. 19	木	V	栄養・代謝系症状の理解と看護(発熱)	講義	小山 理英		
				予習 教科書の第3章(P178~183・P206~215)を読む				
				復習 課題レポート				
5	R4. 6. 2	木	V	栄養・代謝系症状の理解と看護(悪心・嘔吐)	講義	岡田 なぎさ		
				予習 教科書の第3章(P256~267)を読む				
				復習 課題レポート				
6	R4. 6. 9	木	V	知覚系症状の理解と看護(めまい・耳鳴り)	講義	古村 沙織		
				予習 教科書の第6章(P486~523)を読む				
				復習 課題レポート				
7	R4. 6. 16	木	V	知覚系症状の理解と看護(疼痛)	講義	内田 真優美		
				予習 教科書の第6章(P430~432・P465~473)を読む				
				復習 課題レポート				
8	R4. 6. 23	木	V	事例の症状マネジメントと具体的な看護技術	グループワーク	立石 和子		
				予習 1~6までの授業資料の復習				
				復習 課題レポート				